科目名	22．生活行動がしづらいからだⅠ 物質の流通				
履修年次	1年次	科目区分	専門基礎分野	単位数 (時間)	1単位 （30時間）
ディプロマポリシー(DP)	☑ 人を大切にするこころ □ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 □ チームの中で連携・協働するための力 □ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	人体の物流システムが障害された場合に起こるからだの反応と治療過程を理解することができる。また、それらが生活行動に及ぼす影響を理解することができる				
到達目標	人のからだに関心をもちながら、生きるために必要な酸素の取り込みから運搬までのしくみの障害とそれを整えるための方法について説明することができ、生活行動への影響について表現することができる				
評価方法	筆記試験（100点）				
使用 テキスト	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　呼吸器　成人看護学②　医学書院 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　循環器　成人看護学③　医学書院 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　血液・造血器　成人看護学④　医学書院				
参考文献	看護形態機能学　生活行動からみるからだ　日本看護協会出版会				
教育方法と学生への期待 (求めること)	よりよい看護を実践するためには疾患の病態生理や治療について知識を有していることが必須です。ここでは、人が生きていくために必要な物流システムの流通媒体（血液）、流通路（血管・リンパ管）、流通の原動力（心臓）、流通してエネルギーを作り出す元になる（息をする）が障害された場合に起こる症状および疾病のメカニズム、診断に用いる検査や治療・処置などについて理解し、生活行動に及ぼす影響を考えて欲しい。 受講にあたっては、教科書での予習・各回の講義の復習を十分行うこと。『生活行動から見るからだ』『病気の原因と回復過程』の復習をして講義に臨み、理解を深めて欲しい。				

回	学習項目	学習内容	授業方法
1	『息をする』が障害された時の症状	呼吸不全　　咳嗽、喀痰、血痰、喀血、胸痛、呼吸困難　チアノーゼ、ばち指	講義
2	呼吸器の感染症 【侵入者に負けたからだ】	かぜと急性気管支炎　　インフルエンザ 肺炎　　結核	講義
3	換気の障害 【吸いづらい・吐きづらいからだ】	気道の狭窄・閉塞：気管支喘息・慢性閉塞性肺疾患の病態生理・診断と検査・治療 気道の拡張：気管支拡張症の病態生理・診断と検査・治療 肺が広がりにくい：間質性肺炎の病態生理・診断と検査・治療	講義

4	呼吸調節の障害 【吸う・吐くがコントロールできない】 肺循環の障害 【肺血管の流れの停滞】	過換気症候群の病態生理・診断と検査・治療 睡眠時無呼吸症候群の病態生理・診断と検査・治療 肺血栓塞栓症の病態生理・診断と検査・治療 肺高血圧症の病態生理・診断と検査・治療	講義
5	呼吸器に発生する腫瘍	良性腫瘍・悪性腫瘍の病理・診断と検査・治療	講義
6	流通媒体が障害された時の症状	貧血、発熱、リンパ腫脹、脾腫、出血傾向	講義
7	流通媒体が障害された①	運搬機能の障害：貧血の病態生理・診断と検査・治療 造血機能の障害：白血病、悪性リンパ腫、骨髄腫の病態生理・診断と検査・治療	講義
8	流通媒体が障害された②	止血機能の障害：紫斑病、血友病、DICの病態生理・診断と検査・治療	講義
9	血液を送り出すポンプが障害された時の症状	胸痛、動機、呼吸困難、浮腫、チアノーゼ、めまい・失神、ショック　　血圧異常	講義
10	血液を送り出すポンプが障害された①	心臓を動かすための血管障害：狭心症、心筋梗塞の病態生理・診断と検査・治療 血液を送り出すポンプの障害：心不全、心筋症の病態生理・診断と検査・治療	講義
11	血液を送り出すポンプが障害された②	血液を送り出すリズムの障害：不整脈の病態生理・診断と検査・治療 ポンプ内部の仕組みの障害：弁膜症、心膜炎、先天性心疾患の病態生理・診断と検査・治療	講義
12	流通路の障害	動脈系の障害　　静脈系の障害 リンパ系の障害	講義
13	流通媒体が障害された	貧血になると生活の何がしづらくなる？	演習
14	『息をする』が障害された	咳が出ると生活の何がしづらくなる？	演習
15	血液を送り出すポンプが障害された	咳が出ると生活の何がしづらくなる？	演習